

広野町除染対策事業 75億8657万円

- 広野町除染作業業務委託
- 戸建て 1620戸
(平成23年度実施分を除く)
 - 公共施設等 52件
道路延長 117.3km
 - 森林(生活圏) 42.7ヘクタール
 - 農地 300ヘクタール



本格的な除染作業が始まった広洋台地区

平成24年度 新規事業・重点事業 クローズアップ

財政状況が厳しいなか、平成24年度もいろいろな新規事業や重点事業が実施されます。
ここでは、そのうち主な事業を紹介します。



疾病予防と健康づくりの推進に励みます

被災者健康支援事業 780万円

長引く避難生活で、運動不足や食生活の変化などにより、生活習慣病の発症や悪化が心配されるなか、これらを予防、防止するため、保健師、心理士、管理栄養士等による保健指導や訪問活動の充実をはかります。

復興祈念花火運営事業 500万円

東日本大震災の犠牲者の追悼と被災地である当町の復興に向け、花火を打ち上げます。



平成22年サマーフェスティバル



機種については、今後比較検討しながら決定します
(写真の機種は参考です)

放射線量測定器購入事業 8552万円

町民帰還の促進に向けて、町民の放射能汚染に対する不安の解消と、安全・安心を確保するため、全世帯に放射線量測定器を配布します。

スクールバス運行事業 1億395万円

いわき市内に再開した小中学校に通学する児童生徒を対象に、スクールバスを運行します。
なお、2学期から再開する本校舎へ通学する児童生徒に対してもスクールバスの運行を実施します。



スクールバスで通学する児童

水稻放射性物質移行確認実証事業 400万円

町内40箇所、4ヘクタールの実証ほを設置し、町内産米のセシウム含有量の調査を行います。



昨年実施した小規模な実証実験